

衛研第1-44号  
平成28年 1月27日

感染症発生動向調査事業  
各関係機関の長様

埼玉県衛生研究所長

感染症発生動向調査事業週単位情報の送付について（通知）

このことについて、別添のとおり送付いたします。

担当 埼玉県衛生研究所 感染症疫学情報担当  
電話 0493-59-9325  
FAX 0493-59-9613  
e-mail p5349952@pref.saitama.lg.jp

## 感染症患者発生情報（週報）

### 埼玉県内情報 平成28年第3週（平成28年1月18日～平成28年1月24日）

今週の注目される疾患

全数把握対象疾患では、一類から三類感染症（二類：結核を除く）の届出はなかった。四類感染症は、レジオネラ症2人の届出があった。五類感染症は、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症1人、急性脳炎2人、劇症型溶血性レンサ球菌感染症1人、後天性免疫不全症候群2人、侵襲性肺炎球菌感染症6人、水痘（入院例）1人、梅毒1人、播種性クリプトコックス症1人、薬剤耐性アシネトバクター感染症1人の届出があった。

定点報告対象疾患では、**インフルエンザ**（4.76→12.70）の定点当たり報告数は、前週より大きく増加し、県全体で注意報基準値（定点当たり10.00）を超えた。保健所別では、幸手（9.86→21.86）、草加（7.18→19.29）、朝霞（3.00→14.57）保健所管内で大きく増加し、さいたま市（15.32）、鴻巣（15.11）保健所管内からの報告が多い。年齢階級別では、全年齢階級から報告があり、10歳未満で全体の60.4%を占めている。**A群溶血性レンサ球菌咽頭炎**（2.51→3.13）の定点当たり報告数は、前週より増加した。保健所別では、川口（4.19→6.87）保健所管内で大きく増加し、熊谷（5.89）保健所管内で多い状況が続いている。**感染性胃腸炎**（10.91→9.03）及び**伝染性紅斑**（1.04→0.80）の定点当たり報告数は、前週と比べ僅かな減少に留まった。保健所別で前者は、熊谷（18.22）、川口（15.20）保健所管内で多い状況が続いており、後者は、坂戸（1.83）、加須（1.67）保健所管内からの報告が多い。**流行性耳下腺炎**（1.01→0.75）の定点当たり報告数は、前週に引き続き減少したが、いまだ報告数の多い状況にある。保健所別では、幸手（1.78）、草加（1.73）保健所管内からの報告が多い。眼科定点対象疾患では、**急性出血性結膜炎**1人、**流行性角結膜炎**26人の報告があった。基幹定点報告対象疾患では、**マイコプラズマ肺炎**4人、**感染性胃腸炎（ロタウイルス）**1人、**インフルエンザ（入院）**5人の報告があった。

#### <全数把握対象疾患の患者情報>

<b>一類感染症</b>	報告なし	
<b>二類感染症</b>	報告なし（結核を除く）	
<b>三類感染症</b>	報告なし	
<b>四類感染症</b>	レジオネラ症	2人（病型 肺炎型 2人）
<b>五類感染症</b>	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	1人（菌種 <i>Morganelia</i> . sp）
	急性脳炎	2人（病原体 インフルエンザウイルスA 2人）
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1人（血清群 A群）
	後天性免疫不全症候群	2人（病型 その他 1人、無症状病原体保有者 1人）
	侵襲性肺炎球菌感染症	6人
	水痘（入院例）	1人（病型 臨床診断例）
	梅毒	1人（病型 早期顕症Ⅰ期）
	播種性クリプトコックス症	1人
	薬剤耐性アシネトバクター感染症	1人

1 この情報に関する御質問・御意見等がございましたら、下記まで御連絡ください。

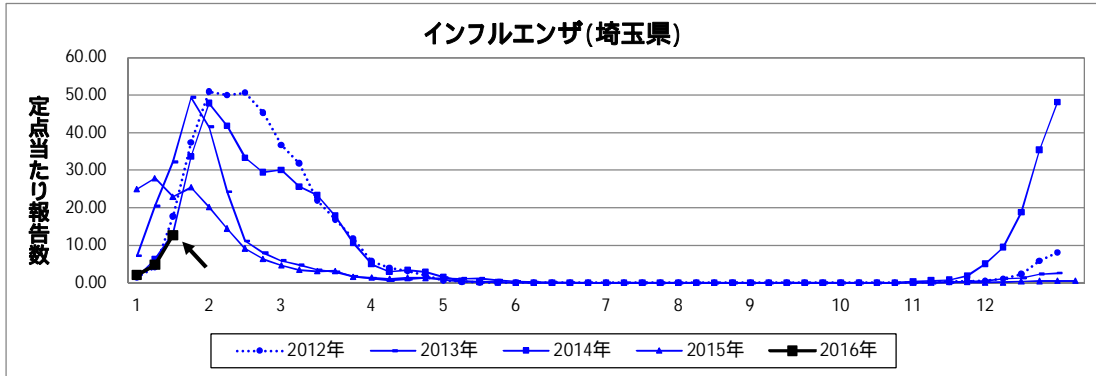
衛生研究所 感染症情報担当者会議(感染症疫学情報担当) TEL: 0493-59-9325 FAX: 0493-59-9613  
 e-mail: [p5349952@pref.saitama.lg.jp](mailto:p5349952@pref.saitama.lg.jp) URL: <http://www.pref.saitama.lg.jp/b0714/surveillance/index.html>

2 全国の感染症発生動向に関する情報は、国立感染症研究所の感染症疫学センターホームページ(URL: <http://www.nih.go.jp/niid/ja/from-idsc.html>)で御覧になれます。

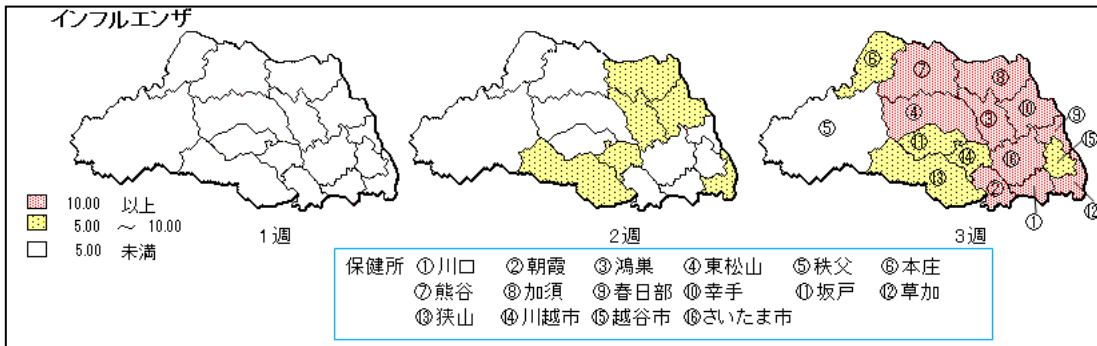
# 注目すべき疾患

## - インフルエンザ -

第3週のインフルエンザの県全体の報告患者数は3,188人、定点当たり報告数は12.70で、前週より大きく増加した。保健所別では、川口、朝霞、鴻巣、東松山、熊谷、加須、春日部、幸手、草加及びさいたま市の10保健所管内で定点当たり10.00を超えた。



保健所別の定点当たり報告数の推移



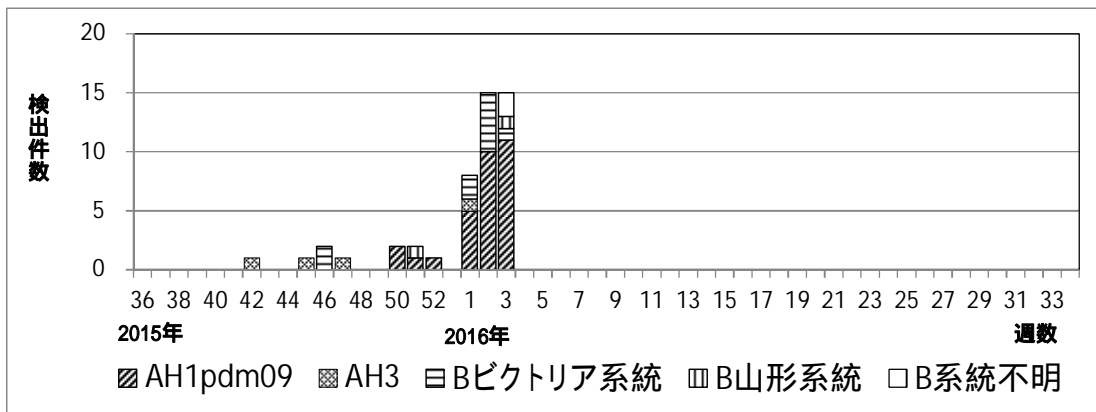
### インフルエンザウイルス検出状況

さいたま市(17人)、熊谷(8人)、草加(2人)、越谷市(2人)保健所管内で採取された検体から、今週新たにAH1pdm09が22件、B型が7件検出された。9月(36週)以降の検出はAH1pdm09が30件、A香港が4件、B型が14件の計48件となった。

年齢階級別インフルエンザウイルス検出状況

2015年36週から		年齢階級							70歳以上	計
		0~9	10~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69		
AH1pdm09	今週検出分	18	2	-	1	2	-	1	-	22
	累積	24	2	-	1	2	-	1	-	30
AH3(A香港)	今週検出分	2	2	-	-	-	-	-	-	4
	累積	4	2	-	1	-	-	-	-	7
B型	今週検出分	4	2	-	1	-	-	-	-	7
	累積	8	4	-	2	-	-	-	-	14

検体の採取週別インフルエンザウイルス検出状況





感染症発生状況(全数把握対象疾患)  
(第3週)

(2016年1月26日 15:00集計)

	今週 届出	累計	2015年 累計		今週 届出	累計	2015年 累計
<b>一類感染症</b>							
エボラ出血熱				ペスト			
クリミア・コンゴ出血熱				マールブルグ病			
痘そう				ラッサ熱			
南米出血熱							
<b>二類感染症</b>							
急性灰白髄炎				中東呼吸器症候群(MERS)			
結核*	-	-	1276	鳥インフルエンザ(H5N1)			
ジフテリア				鳥インフルエンザ(H7N9)			
重症急性呼吸器症候群(SARS)							
<b>三類感染症</b>							
コレラ				腸チフス		1	1
細菌性赤痢			6	パラチフス			1
腸管出血性大腸菌感染症			167				
<b>四類感染症</b>							
E型肝炎		5	7	鳥インフルエンザ(H5N1を除く)			
ウエストナイル熱				ニパウイルス感染症			
A型肝炎			16	日本紅斑熱			
エキノコックス症				日本脳炎			
黄熱				ハンタウイルス肺症候群			
オウム病			1	Bウイルス病			
オムスク出血熱				鼻疽			
回帰熱				ブルセラ症			
キャサナル森林病				ベネズエラウマ脳炎			
Q熱				ヘンドラウイルス感染症			
狂犬病				発しんチフス			
コクシジオイデス症				ポツリヌス症			
サル痘				マラリア			1
重症熱性血小板減少症候群				野兔病			
腎症候性出血熱				ライム病			
西部ウマ脳炎				リッサウイルス感染症			
ダニ媒介脳炎				リフトバレー熱			
炭疽				類鼻疽			
チクングニア熱			1	レジオネラ症	2	5	90
つつが虫病				レプトスピラ症			
デング熱		2	13	ロッキー山紅斑熱			
東部ウマ脳炎							
<b>五類感染症</b>							
アメーバ赤痢		2	30	侵襲性肺炎球菌感染症	6	8	85
ウイルス性肝炎(E型・A型を除く)			6	水痘*	1	2	10
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	1	1	40	先天性風しん症候群			
急性脳炎	2	2	28	梅毒	1	6	102
クリプトスポリジウム症				播種性クリプトコックス症	1	1	7
クロイツフェルト・ヤコブ病			10	破傷風			2
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1	2	12	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症			
後天性免疫不全症候群	2	3	35	バンコマイシン耐性腸球菌感染症			9
ジアルジア症			4	風しん			8
侵襲性インフルエンザ菌感染症			14	麻しん			2
侵襲性髄膜炎菌感染症			2	薬剤耐性アシネトバクター感染症	1	1	1
指定感染症	該当疾患は無し						

水痘\* : 患者が入院を要すると認められるものに限る。

ウイルス性肝炎(A型・E型を除く)再掲	B型	C型	D型	その他
累計				

累計は診断日で集計  
\* 2015年累計は暫定値です。  
\* 結核は月単位で集計、別に掲載します。



感染症発生動向調査 週情報 報告患者数 年齢別 (第3週 平成28年1月18日～平成28年1月24日)

	合計																				
	-6ヵ月	12ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80～	
インフルエンザ #1	3,188	11	26	125	114	159	224	272	250	278	265	201	458	91	124	235	200	83	53	13	6
合計	-6ヵ月	12ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29							
RSウイルス感染症	65	11	16	24	8	4	1	-	-	-	-	1	-	-							
咽頭結膜熱	54	1	2	12	10	6	7	6	2	3	2	1	2	-							
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	498	-	-	7	21	29	60	62	93	64	45	27	58	8	24						
感染性胃腸炎	1,436	10	64	225	140	157	124	108	94	64	64	48	127	41	170						
水痘	102	-	5	3	11	11	18	13	13	12	8	3	3	1	1						
手足口病	8	-	1	2	1	2	1	1	-	-	-	-	-	-	-						
伝染性紅斑	127	-	-	7	6	11	21	15	19	19	17	5	7	-	-						
突発性発しん	69	2	26	37	3	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
百日咳	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1						
ヘルパンギーナ	4	-	-	1	1	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-						
流行性耳下腺炎	119	-	3	6	4	7	16	10	10	10	10	4	30	4	5						
合計	-6ヵ月	12ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70～		
急性出血性結膜炎	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	26	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	2	4	6	5	1	2	2	4	
合計	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70～					
細菌性髄膜炎 #2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	4	-	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
クラミジア肺炎 #3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
(入院)インフルエンザ	5	-	3	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1

表中の数値は各定点からの報告数( - : 0 )

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

# 全国・関東情報 第1週

( 1月4日～1月10日 )

平成28年1月27日

インフルエンザの定点当たり報告数は第49週以降増加が続いている。都道府県別の上位3位は沖縄県(8.19)、秋田県(7.85)、新潟県(5.73)である。基幹定点からのインフルエンザ入院サーベイランスにおける報告数は169例と前週と比較して増加した。都道府県別では39都道府県から報告があり、年齢別では0歳(11例)、1～9歳(46例)、10代(3例)、20代(4例)、30代(3例)、40代(11例)、50代(13例)、60代(21例)、70代(18例)、80歳以上(39例)であった。

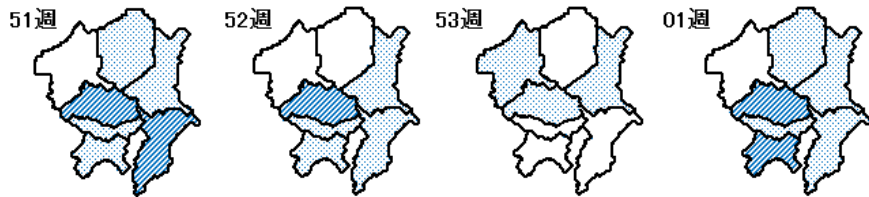
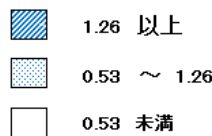
RSウイルス感染症の報告数は3,630例と増加した。年齢別では1歳以下の報告数が全体の約81%を占めている。咽頭結膜熱の定点当たり報告数は増加し、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)と比較してやや多い。都道府県別の上位3位は新潟県(1.73)、鳥取県(1.26)、石川県(1.14)である。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は増加し、過去5年間の同時期と比較してやや多い。都道府県別の上位3位は山形県(4.53)、静岡県(4.48)、鳥取県(4.05)である。感染性胃腸炎の定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は愛媛県(12.92)、大分県(12.33)、富山県(11.72)である。水痘の定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は埼玉県(1.47)、福岡県(1.30)、神奈川県(1.26)である。手足口病の定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は山形県(0.17)、山口県(0.15)、宮崎県(0.14)である。伝染性紅斑の定点当たり報告数は増加し、過去5年間の同時期と比較してかなり多い。都道府県別の上位3位は山形県(3.07)、鳥取県(2.63)、熊本県(2.50)である。流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は増加し、過去5年間の同時期と比較してやや多い。都道府県別の上位3位は佐賀県(5.00)、宮崎県(4.23)、石川県(3.31)である。

マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は増加し、過去5年間の同時期と比較してやや多い。都道府県別の上位3位は岐阜県(3.40)、富山県(2.60)、京都府(2.29)である。感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)の定点当たり報告数は増加した。24道府県から55例報告があり、年齢別では0歳(7例)、1～4歳(35例)、5～9歳(7例)、10代(2例)、30代(3例)、70歳以上(1例)であった。

## <関東情報>

水痘の定点当たり報告数は、埼玉県(1.47)、神奈川県(1.26)からの報告が多い。

### 水痘



平成27年 01週

		全国	関東地域	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県
インフルエンザ #1	報告数	9,964	2,808	275	87	137	512	522	681	594
	定点当たり	2.02	1.90	2.29	1.14	1.44	2.06	2.49	1.67	1.84
RSウイルス感染症	報告数	3,630	552	55	33	43	107	65	154	95
	定点当たり	1.16	0.59	0.73	0.69	0.74	0.69	0.49	0.59	0.47
咽頭結膜熱	報告数	1,696	394	28	9	20	92	72	100	73
	定点当たり	0.54	0.42	0.37	0.19	0.34	0.59	0.55	0.38	0.36
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数	6,771	1,884	120	77	151	384	322	494	336
	定点当たり	2.16	2.02	1.60	1.60	2.60	2.46	2.44	1.90	1.66
感染性胃腸炎	報告数	24,300	7,982	595	238	487	1,560	1,091	2,142	1,869
	定点当たり	7.74	8.56	7.93	4.96	8.40	10.00	8.27	8.24	9.21
水痘	報告数	2,736	1,033	69	31	29	230	164	255	255
	定点当たり	0.87	1.11	0.92	0.65	0.50	1.47	1.24	0.98	1.26
手足口病	報告数	164	44	4	2	2	5	5	11	15
	定点当たり	0.05	0.05	0.05	0.04	0.03	0.03	0.04	0.04	0.07
伝染性紅斑	報告数	2,610	551	43	42	37	144	124	101	60
	定点当たり	0.83	0.59	0.57	0.88	0.64	0.92	0.94	0.39	0.30
突発性発しん	報告数	1,239	333	20	29	26	53	55	85	65
	定点当たり	0.39	0.36	0.27	0.60	0.45	0.34	0.42	0.33	0.32
百日咳	報告数	41	11	-	-	-	1	1	6	3
	定点当たり	0.01	0.01	-	-	-	0.01	0.01	0.02	0.01
ヘルパンギーナ	報告数	45	11	2	-	-	3	2	3	1
	定点当たり	0.01	0.01	0.03	-	-	0.02	0.02	0.01	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	3,771	1,018	130	33	27	240	233	205	150
	定点当たり	1.20	1.09	1.73	0.69	0.47	1.54	1.77	0.79	0.74
急性出血性結膜炎	報告数	9	2	-	-	-	-	-	-	2
	定点当たり	0.01	0.01	-	-	-	-	-	-	0.04
流行性角結膜炎	報告数	689	231	30	22	12	41	27	23	76
	定点当たり	1.01	1.16	1.76	1.83	0.86	1.00	0.87	0.59	1.65
細菌性髄膜炎 #2	報告数	10	1	-	-	-	1	-	-	-
	定点当たり	0.02	0.01	-	-	-	0.10	-	-	-
無菌性髄膜炎	報告数	15	2	-	-	-	-	1	1	-
	定点当たり	0.03	0.02	-	-	-	-	0.11	0.04	-
マイコプラズマ肺炎	報告数	429	96	11	4	10	12	5	51	3
	定点当たり	0.91	1.17	0.85	0.57	1.25	1.20	0.56	2.04	0.30
クラミジア肺炎 #3	報告数	9	2	-	-	-	2	-	-	-
	定点当たり	0.02	0.02	-	-	-	0.20	-	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	報告数	55	4	-	-	1	1	1	-	1
	定点当たり	0.12	0.05	-	-	0.13	0.10	0.11	-	0.10

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

(-0.00)



総合トップ

くらし・環境

健康・福祉

しごと・産業

文化・教育

県政情報・統計

総合トップ > 健康・福祉 > 感染症 > 感染症情報センター > 感染症の流行情報 > 感染症発生動向調査 > 感染症発生動向調査 2016年 > 感染症の流行状況 2016年 第3週

感染症発生動向調査 2016年

- [感染症の流行状況 2016年 第1週](#)
- [感染症の流行状況 2016年 第2週](#)

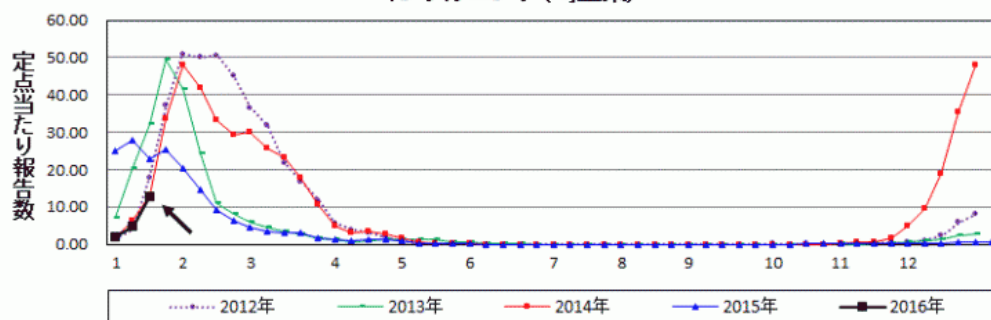
感染症の流行状況 2016年 第3週

2016年第3週（平成28年1月18日～1月24日）の要点 平成28年1月27日

インフルエンザの定点当たり報告数は、前週より大きく増加しました。外出後の手洗い・うがいとともに、十分な休養をとるよう心がけてください。また、お子さんの体調がすぐれない時は、医療機関に電話で相談の上、早目に受診してください。

- [インフルエンザに関する情報はこちらをご覧ください。](#)
- [麻疹に関する情報はこちらをご覧ください。](#)
- [風しんに関する情報はこちらをご覧ください。](#)

インフルエンザ(埼玉県)



感染症流行状況

疾患	推移	流行状況	疾患	推移	流行状況
<a href="#">インフルエンザ</a>	↑	★★	<a href="#">伝染性紅斑</a>	↓	★★
<a href="#">RSウイルス感染症</a>	→	★★	<a href="#">突発性発しん</a>	→	★
<a href="#">咽頭結膜熱</a>	→	★	<a href="#">百日咳</a>	→	★
<a href="#">A群溶血性レンサ球菌咽頭炎</a>	↑	★★★	<a href="#">ヘルパンギーナ</a>	→	★
<a href="#">感染性胃腸炎</a>	↓	★★	<a href="#">流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）</a>	→	★★
<a href="#">水痘（みずぼうそう）</a>	→	★★	<a href="#">急性出血性結膜炎</a>	→	★
<a href="#">手足口病</a>	→	★	<a href="#">流行性角結膜炎</a>	→	★★

\*1.推移、流行状況は、県内全域の傾向です。 \*2.推移は2週間前からの傾向を示します。(→:増減無し、↑:増加、↓:減少) \*3.流行状況は今週の流行を示します。(小さい←★、★★、★★★→大きい)

疾患名をクリックすると、各疾患の流行状況のグラフがご覧いただけます。

全国の感染症発生動向状況については、国立感染症研究所のホームページ「[感染症疫学センター](#)」(アドレス <http://www.nih.go.jp/niid/ja/from-idsc.html>)でご覧になれます。

この情報は毎週水曜日に更新する予定です。ただし、祝日等により変更の場合もあります。



埼玉県のマスコット コバトン

お問い合わせ

保健医療部 衛生研究所 感染症疫学情報担当  
郵便番号355-0133 埼玉県比企郡吉見町江和井410番地1

▶ お問い合わせフォーム